

屋根とスロープ

屋根やスロープ上での作業では、滑落や墜落の危険から安全を確保するために確保システムを設置する必要があります。作業する期間の長さにより、どの確保システムを使用するかが決まります。作業が長期間にわたる場合、墜落の危険から安全を確保するためには共同の確保システム（安全ネット等）が使用されるべきです。もし作業が短時間で終了するものなら、個人保護用具が使用されます（共同の確保システムが常設されていない現場では、長期間にわたる作業であってもそのシステムを設置するためにPPEの使用が必要となります）。その作業は墜落の危険を多く含みます。各作業者はフォールアレストシステム（例：ライフライン、モバイルフォールアレスター、エネルギーアブソーバーを使用したシステム）で安全を確保する必要があります。

もし共同の確保システムが設置されていて、それが墜落時の安全確保に十分なものである場合は、調節型ランヤードを使用したワークポジショニングシステムが最適です。

Altius, Lyon Confluence (France) © Pat Dion



A バーテックス ベント：

強度が高いあご紐（墜落時の衝撃によりヘルメットが外れる危険性が減少）を採用。フィット感に優れた通気孔付ヘルメット

B ニュートン ファストジャック：

装着が簡単なジャケット付フォールアレストハーネス

C グリヨン：

素早く調節できる仮設水平ライフライン

D アサップソーバー：

作業者とライフラインとの距離を確保するためのエネルギーアブソーバー付ランヤード

E アサップ：

手で操作をせずにロープ上を上下両方向に移動するモバイルフォールアレスター

F アクシス：

末端に縫製処理を施した、直径 11 mm のロープ

製品ページ（40～149）参照



ハーネス

ヘルメット

ランヤード
エネルギーアブソーバー

モバール
フォールアレスター

コネクター

下降器

ロープクランプ

プーリー

アンカー
ロープ

バッグ
アクセサリ



A



B



C



D



E

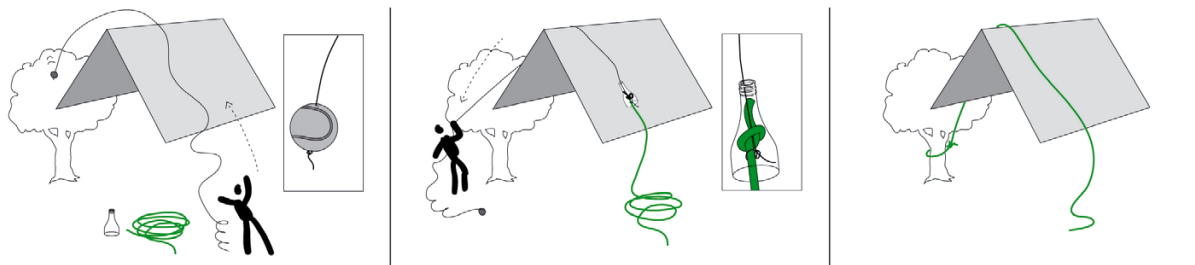


F

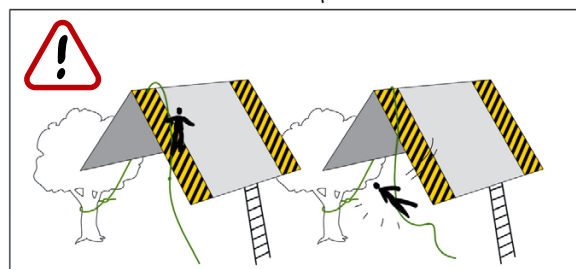
屋根とスロープ

一時的な使用

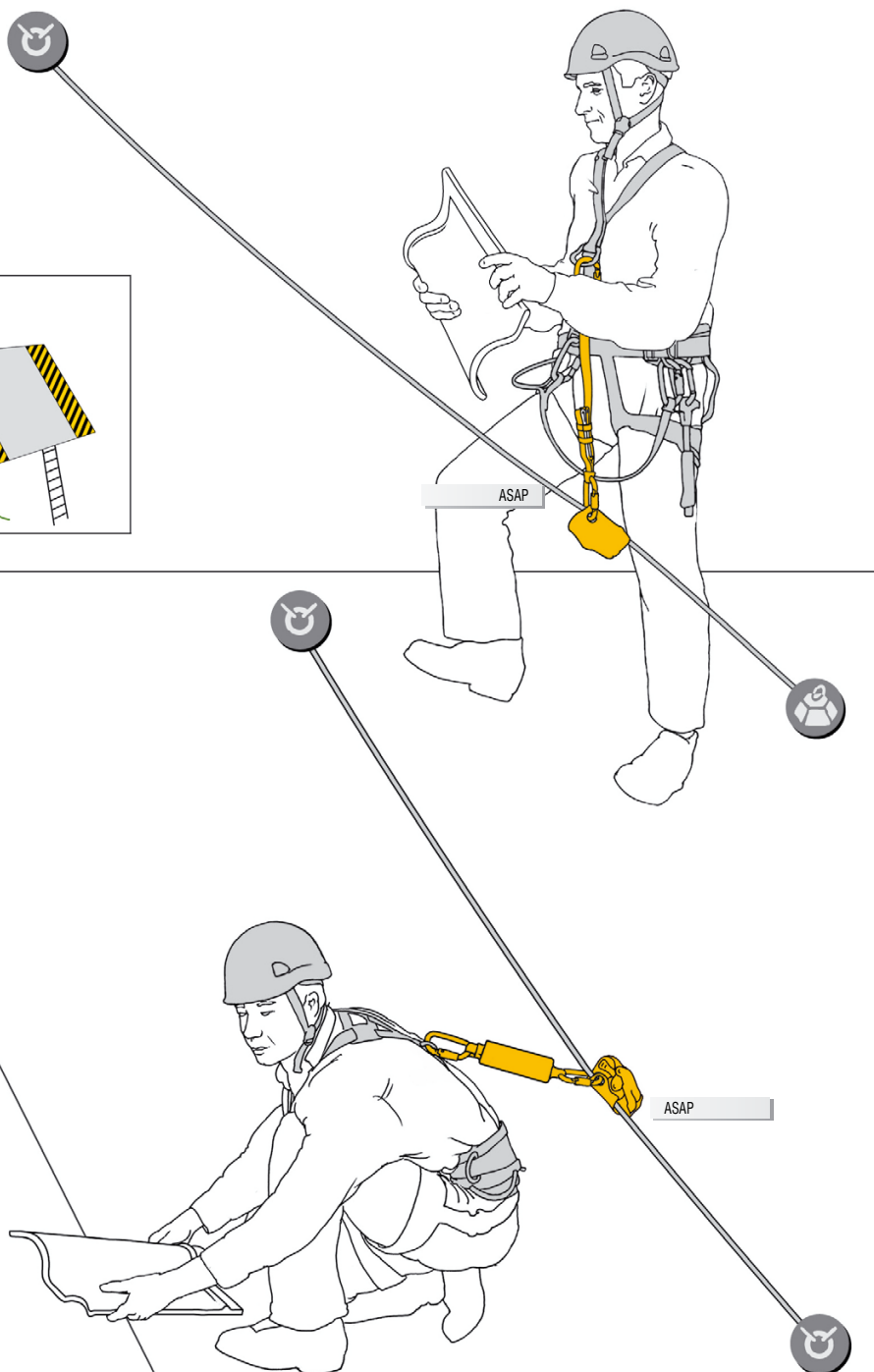
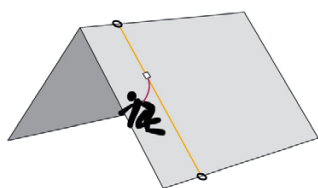
地上からのロープのセット



屋根の中央部分での作業（アクセスできる箇所に制限有り）

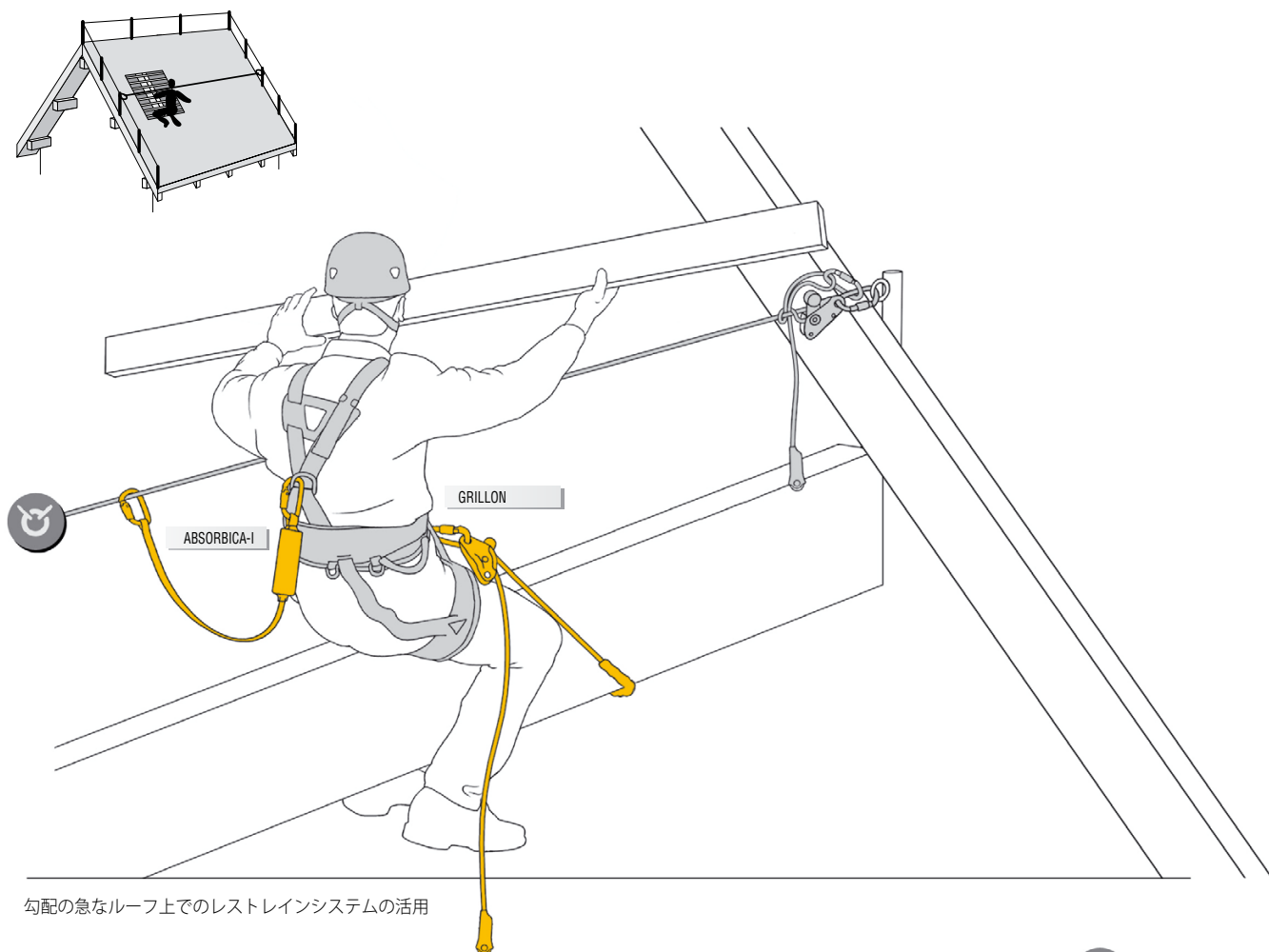


ヘリの部分での作業

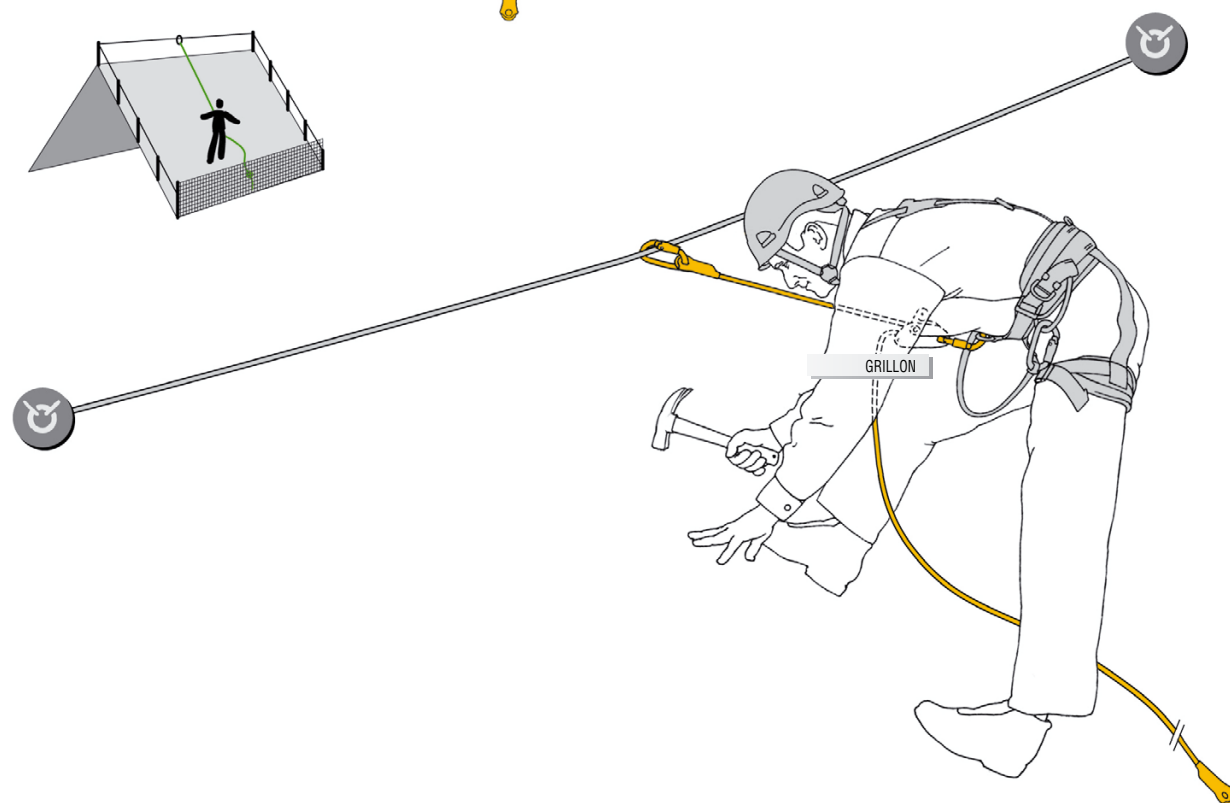


長期間の使用

個人保護用具と共同の確保システムの両方を使用した屋根の修理作業



勾配の急なルーフ上でのレストレインシステムの活用



ハーネス

ヘルメット

ランヤード
エネルギーアブソーバー

モバイル
フォールアレスター

コネクタ

下降器

ロープクランプ

プーリー

アンカー
ロープ

バッグ
アクセサリ